

今週の

いきもの広場

① アカスジキンカメムシの幼虫



成虫（左）と異なる、光沢のある褐色の体を持っています。この姿で越冬し、翌年の夏に成虫になります。

② アケビコノハの幼虫



アケビの葉を食べます。目玉模様をつき出すような、頭部を折りたたんだポーズが特徴的。

③ ヒガシニホントカゲ



木や石の上でひなたぼっこをしています。幼体（左下）は青色の尾を持っています。

④ ショウジョウトンボ



眼まで赤いのが特徴です。一般的に赤とんぼと呼ばれる種はアキアカネで、こちらは眼や胸部まで赤くなりません。

⑥ アカボシゴマダラのさなぎ



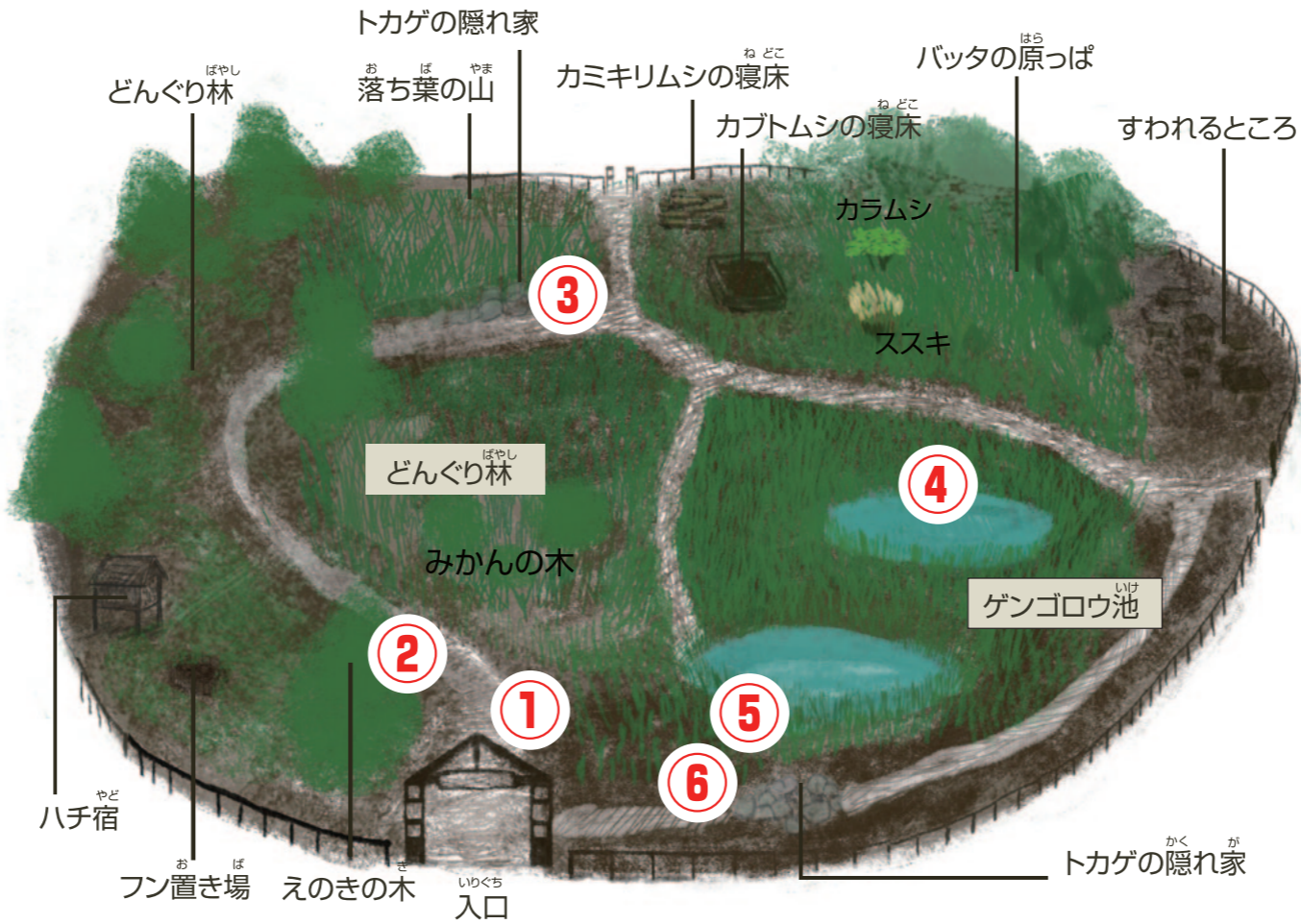
葉っぱと見間違えるような姿をしています。幼虫（右）はエノキの葉を食べます。

⑤ ナガサキアゲハの幼虫



ミカンの葉を食べます。ナガサキアゲハの幼虫の臭角（左）は橙色をしています。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。最近暑さも去り、見られるいきものの種類が増えてきました。



さまざまな花が咲いています

広場内ではニラ（右）やハギ、ヤブランの花が咲きました。花の香りに誘われて、いきものたちも集まってきています。

